

神戸地本女性役員フォーラム開催



3月23日（金）、神戸地本は兵庫勤労市民センターで初の女性役員フォーラムを開催しました。まず、主催者を代表して川原執行委員長が挨拶を述べました。今日を機会に女性役員としての悩みを共有しネットワークを築いていって欲しい。育児をしながら働くことが出来る仕組みをより構築していくこと、そのためには、男性の育児参加が重要になること、女性が結婚、妊娠、出産などそれぞれの転機に仕事を辞めなくてはならないと思わない会社にしていきたい。



その後、来賓としてお招きしたJR西労組中央本部の白壁組織部長から挨拶を頂きました。世話役活動は本当に大変だが、人の為になんかをする事は、回りまわって自分の為、会社の為になる。労働組合はいくら失敗しても怒られない、どんどんチャレンジして欲しい。そして、自分のキャリアに繋がる仕事をして欲しいと述べられました。

続いて、鳥住教育部長、木村女性活躍推進部長から労働組合について、主に女性に関わる各種制度についての説明をしました。

その後、グループに分かれ結婚、出産、育休、介護などの制度を就業規則やワークライフバランスサポートブックを参考にしながらのディスカッション、役員として困っていること、女性役員の育成についてなど悩みを共有しました。その悩みとは、女性役員が少ないから動員が大変だ、分会で意見を言っても、男性が提案に賛同してくれない、懇親会は1次会までにして欲しい、駅は大半が乗務員に行くため、駅務で役員をすると抜けにくい、子育てや仕事をしながら役員を出来る仕組みが必要だ（一部抜粋）というような意見が出ました。

